

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標1 安心・安全の地域づくり

基本目標1 安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし

D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福祉サービスなどの整備・充実	①	住民ニーズに合わせた基盤整備	サロン活動事業 助成件数	R2	70	28	評価 総評	D 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参集形式での地域での集いの場の開催ができず、サロン活動助成件数は著しく減少した。一部地域においては感染対策を実施した上で、地域サロンが開催された。	D 前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により助成件数は減少した。感染対策を万全にし工夫して開催したサロンもあった。	D 引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により助成件数は減少したままである。少しずつ再開に向けた動きはある。	D 引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により助成件数は減少したままであるが、再開させるサロンも増えてきた。	
				R3	75	26						
				R4	80	29						
				R5	85	48						
			単位：件	R6	90							
	②	サービスの質の確保	地区別懇談会開催回数	R2	22	0	評価 総評	D 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が出来なかった。	D 新型コロナウイルス感染症が落ちついている時期に開催を計画したが、再拡大により多1か所のための開催となった。	D 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会が1か所のための開催となった。	D 新型コロナウイルス感染症の影響が残り地区別懇談会の開催はできなかったが、介護予防サービスの整備に向けて、協議体を14回開催した。	
				R3	22	1						
				R4	22	1						
				R5	22	0						
			単位：件	R6	22							
適切な福祉情報の提供	①	情報提供の充実	地域福祉通信の発行	R2	12	12	評価 総評	B 地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	B 地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	B 地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	B 地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策、協議体開催状況について、定期的に情報提供を行った。	
				R3	12	12						
				R4	12	12						
				R5	12	14						
			単位：回	R6	12							
	②	計画の周知	地区別懇談会・協議体活動等を通じた計画及び進捗情報の周知	R2	22	4	評価 総評	D 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が出来ず、説明が出来ていない。なお、支部長(区長)に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	D 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1か所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長(区長)に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	D 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1か所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長(区長)に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	B 協議体設置地区において、社会福祉協議会の取り組みについて周知を行った。また、次年度に向けて地区別懇談会開催の準備を実施した。	
				R3	22	7						
				R4	22	1						
				R5	22	6						
			単位：回	R6	22							
活動拠点としての施設活用	①	集いの場づくりへの支援	福祉のまちづくりセミナーの開催	R2	1	1	評価 総評	C 新型コロナウイルス感染症対策として参集形式とオンライン配信の併用でコロナ禍での地域福祉活動についてと題してセミナーを開催した。	C 新型コロナウイルス感染症対策として参集形式とオンライン配信の併用でコロナ禍での地域福祉活動について考える機会を市民に提供した。	B 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、3年ぶりに参集形式で開催することができた。防災と福祉について考える機会を市民に提供した。	B サロンで活用できる健康づくりと実技についてセミナーを開催し、集いの場づくりへの支援を行った。	
				R3	1	1						
				R4	1	1						
				R5	1	1						
			単位：	R6	1							
	②	活動情報の提供	ボランティアの相談支援(登録・マッチング・ニーズ)	R2	220	100	評価 総評	D 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設でのボランティア受け入れが出来ず、件数が減少した。	D 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、施設でのボランティア受け入れができず、件数が減少した。	D 引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設でのボランティア受け入れができず、件数が少ないままであった。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響が残るものの、施設でのボランティア受け入れ数もわずかに回復し、ボランティア希望者へ助言及び情報提供を行った。	
				R3	220	93						
				R4	220	90						
				R5	220	111						
			単位：件	R6	220							

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標1
安心・安全の地域づくり

基本目標1
安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし

D:後退した E:廃止した

取組の 方向性	No	取組	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
健康・推 進 予	①	介護予防の普及啓 発	生活支援コーディ ネーターによるサ ロン支援件数	R2	50	22	評価	D	D	C	C	
				R3	55	21	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域サロンへの参加が出来ない状況であったため、件数は減少した。一方で、再開サロンへの感染症拡大防止に向けた助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止していたサロンの再開にあたり、感染症拡大防止に向けた助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響によりサロンの件数は少ないが、継続しているサロン及び休止していたサロンの再開にあたり、助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、サロンの開催時の助言及び情報提供を実施した。	
				R4	60	38						
				R5	65	42						
				単位：件	R6	70						
災害時などの支援協力体制	①	災害時避難行動要 支援者名簿の活用	単位：	R2			評価	C	C	C	C	
				R3			総評	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍において実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍において実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍において実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、個別避難計画作成に向けて災害時避難行動要支援者名簿を活用した。	
				R4								
				R5								
				R6								
	②	連携・災害時の体制づくり	地域福祉活動推進事業 自主防災事業助成件数	R2	10	4	評価	D	D	D	B	
				R3	10	3	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小したため、減少した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災情報の周知、防災物品の配布など、新しい形での活動が実施された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災物品の配付など、新しい形での活動が実施された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災物品の配付など、新しい形での活動が実施された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、地域の自主防災活動はコロナ禍以前に戻りつつある。	
				R4	15	2						
				R5	15	14						
				単位：	R6	15						

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標 2 支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし

D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2 - 1 相談支援体制の充実	①	相談支援拠点の整備	生活福祉資金貸付相談件数	R2	600	3,680	評価	A	A	C	D	
				R3	700	2,097	総評	生活福祉資金貸付特例貸付の実施に伴い、相談件数が大幅に増えた。	生活福祉資金貸付特例貸付の実施に伴い、相談件数が増加した。	生活福祉資金貸付特例貸付が、令和4年9月で終了したため、相談件数が減少傾向にある。	生活福祉資金貸付特例貸付が終了したため、相談件数が減少傾向にある。生活福祉資金貸付の相談は増加している。	
				R4	800	748						
				R5	900	679						
		単位：件	R6	1000								
	②	連携・協力	個別支援ケースへの相談件数	R2	70	79	評価	A	D	C	B	
				R3	75	34	総評	地区担当者が制度の狭間にある個別支援ケースへの対応を関係機関と連携・協力し実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個別支援ケースの相談が減少した。	本人からの相談が増加し、社協全体で相談体制がとれている。	専門職からの相談が増加し、社協に限らず多職種との連携を実施することができた。	
				R4	80	45						
R5				85	66							
	単位：件	R6	90									
2 - 2 地域における権利擁護の推進	①	体制整備・情報発信	福祉サービス利用援助事業の関係機関への周知	R2	10	8	評価	C	C	C	C	
				R3	10	8	総評	日常生活圏域連携会議や地域ケア会議等において、地域包括支援センター等に向けて情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議等において、地域包括支援センター等に向けて報告及び情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議や地域ケア会議等において、地域包括支援センター等に向けて情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議や民生委員児童委員協議会役員会にて報告及び情報提供を行った。またSNS及びホームページを活用し、生活支援員の募集を行った。	
				R4	10	8						
				R5	10	8						
		単位：件	R6	10								
	②	制度の利用促進	福祉サービス利用援助事業契約件数	R2	80	88	評価	B	B	B	B	
				R3	60	102	総評	情報発信により、利用件数が増加した。地域の権利擁護の推進を図ることができた。	新規相談が増加したため、契約件数が増加した。また、みどり市への移管が翌年になった。	みどり市の利用者の多くがみどり市社協へ移管したため、契約件数が減少したが、新規契約数は増加している。	情報発信により、利用件数が増加した。	
				R4	65	80						
R5				70	93							
	単位：件	R6	75									
2 - 3 住民同地域でのつながり、生活の充実慣れ	①	交流の支援	地域福祉活動推進事業（サロン事業・自主防災事業・介護予防事業・世代間交流事業）	R2	85	36	評価	D	D	D	D	
				R3	85	33	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種地域福祉活動が縮小し、件数が減少した。一方、地縁によらない介護予防活動の支援ため、高齢者通いの場づくり応援事業を開始された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域福祉活動が縮小し、件数が減少した。一方、地縁によらない介護予防活動の支援ため、高齢者通いの場づくり応援事業を開始した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、件数が減少したが、再開の準備を進めているサロンも多い。また、高齢者通いの場づくり応援事業の利用は増加した。	新型コロナウイルス感染症の影響により件数が減少したが、再開に向けて動き出すサロンが増えた。また、高齢者の通いの場づくり応援事業の利用は増加した。	
				R4	85	38						
				R5	85	70						
		単位：件	R6	85								
	②	団体との連携	地区担当制事業支部社会福祉協議会活動実績（相談・参加等）	R2	180	147	評価	D	B	B	C	
				R3	185	288	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域活動の縮小し、件数が減少した。	コロナ禍であっても実施している活動には積極的に参加したため増加した。	コロナ禍であっても実施している活動に、積極的に参加したため増加した。	コロナ後の地域福祉活動の再開や立て直しに向け各地区に出向きサロン等の活動支援を行った。	
				R4	190	363						
R5				195	262							
	単位：件	R6	200									

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標 2 支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし

D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2 - 4 地域全体によるネットワーク化の推進	①	社会福祉法人との連携	社会福祉法人・社会福祉施設連絡会の開催	R2	10	12	総評	A	C	A	B	
				R3	10	8						
				R4	10	2						
				R5	10	10						
			単位：回	R6	10							
	②	体制整備	地区別懇談会開催回数	R2	22	0	総評	D	D	D	D	
				R3	22	1						
				R4	22	1						
				R5	22	0						
			単位：回	R6	22							
2 - 5 ネットワークによる支援が必要な人の把握とその支援体制の整備	①	支援体制の構築	個別支援ケースにおける関係機関との連携回数	R2	120	153	総評	A	B	C	B	
				R3	130	153						
				R4	140	98						
				R5	150	168						
			単位：回	R6	150							
	②	必要な情報の提供	地域ケア会議への参加回数	R2	50	54	総評	A	B	B	B	
				R3	50	65						
				R4	50	53						
				R5	50	54						
			単位：回	R6	50							

第3次桐生市地域福祉活動計画 進捗状況評価

基本目標 3
地域を支える
人づくり・活動の促進

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A:大きく推進した B:推進した C:変化なし
D:後退した E:廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3 - 1 の地 た域 め福 の祉 協推 働進	①	協働の場づくり	地域福祉計画・地域福祉活動計画 打ち合わせ会議	R2	6	7	評価	A	D	D	B	
				R3	6	2	総評	地域福祉計画・地域福祉活動計画に進捗についての情報共有及び今後の推進に向けた協議を行うとともに、初年度の評価を実施した。	地域福祉計画・地域福祉活動計画に進捗についての情報共有及び今後の推進に向けた協議を行うとともに、2年目の評価を実施した。	地域福祉計画・地域福祉活動計画に進捗についての情報共有及び次期計画策定に向けた協議を関係機関で行った。		
				R4	6	1						
				R5	6	4						
			単位:回	R6	6							
3 - 2 市民活動の推進	①	活動の支援	ボランティアの相談支援(登録・マッチング・ニーズ)	R2	220	100	評価	D	D	D	C	
				R3	220	93	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、全体の件数が減少した。若年向けボランティア、勤労世代への働きかけは実施できていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、全体の件数が減少した。特に、個人のボランティア登録者数が激減した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、全体の件数が減少した。特に、個人のボランティア登録者数が減っている。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残るものの、全体の件数は増加した。	
				R4	220	90						
				R5	220	111						
			単位:件	R6	220							
	②	情報提供	ホームページやSNS等の活用による情報発信	R2	5	0	評価	D	D	D	D	
				R3	10	0	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないこともあり、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残るものの、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	
				R4	15	0						
				R5	20	0						
			単位:	R6	25							
3 - 3 福祉教育の推進	①	学校教育との連携	福祉体験学習の実施件数	R2	35	2	評価	D	D	D	C	
				R3	35	0	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、福祉体験学習(車椅子・視覚障害者体験・高齢者疑似体験)が実施出来ず、講話のみとなり、件数が減少した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉体験学習は中止とした。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、福祉体験学習を再開した。	福祉体験学習を再開したことにより、市内学校機関からの依頼が増加し実施件数が増加した。	
				R4	35	14						
				R5	35	21						
			単位:件	R6	35							
	②	体験学習機会の提供	福祉体験学習受講者数	R2	1500	48	評価	D	D	D	C	
				R3	1500	0	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、福祉体験学習(車椅子・視覚障害者体験・高齢者疑似体験)が実施出来ず、講話のみとなり、受講者数が減少した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉体験学習は中止とした。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、福祉体験学習を再開した。	福祉体験学習を再開したことにより、市内学校機関からの依頼が増加し受講者数が増加した。	
				R4	1500	602						
3 - 4 地域の 人材 育成	①	担い手の発掘・養成及び情報発信	福祉のまちづくりセミナーの開催	R2	1	1	評価	C	C	B	B	
				R3	1	1	総評	担い手の発掘・養成に向け、福祉のまちづくりセミナーを映像資料を作成した。定年退職者向けの取組及び勤労世代向けの地域福祉活動については、実施できていない。	地域福祉活動計画の理解促進・住民主体による地域福祉活動推進のため開催した。新型コロナウイルス感染拡大予防のため参集形式およびオンライン配信を併用した。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、3年ぶりに参集形式で開催することができた。防災と福祉について考える機会を市民に提供した。	サロンで活用できる健康づくりと実技についてセミナーを開催し、集いの場づくりへの支援を行った。	
				R4	1	1						
				R5	1	1						
			単位:回	R6	1							